



八幡小だより

強く正しく明るく

山鹿市立八幡小学校

令和5年度学校だより No.16

R5.12.13 (水) 発行 校長 森 每恵

校訓「強く 正しく 明るく」 教育目標「ふるさとを愛し、夢の実現に向かって考動する児童の育成」
目指す児童像「強い子 正しい子 明るい子」
児童会スローガン「笑顔・協力・挑戦！ やさしさいっぱい 考動できる八幡っ子」

赤い羽根共同募金の取組、推進中！ ～計画委員会～



赤い羽根共同募金運動は、1947（昭和22）年に第1回共同募金運動が全国展開されてから、今年で76年目。当時は戦争で家を焼失したり、親を失ったりした子どもたちの様々な支援を目指して活動が推進されたとのことでした。社会福祉協議会の方の話や調べ学習を通して学んだことを、自分の言葉で分かりやすく伝えてくれた計画委員の皆さん。趣旨説明を各学級にZoomで配信しました。赤い羽根共同募金の趣旨をご理解の上、よろしければご協力をどうぞよろしくお願い致します。

長距離走・駅伝大会に向けて

12月7日にカルチャースポーツセンターで試走を実施。写真右上は1～3年生の試走の様子、写真右下は試走翌日に縦割り班ごとに集まってふりかえりをする4～6年生の様子です。たすきの渡し方やコース取り、呼吸の仕方、ペース配分などそれぞれの班でアイデアを出し、確認合っていました。この支え合う取組の過程を大切にしたいものです。「試走はきつかったけど楽しかった！」という声も聞かれました。4年生以上の駅伝では、チームの試走タイム更新を目指します。



12/2 授業参観・学級懇談会 お世話になりました



写真は1年生の生活科の授業参観の様子です。1年生はこれまで「秋」をテーマに、カルチャースポーツセンターや地域に出かけ、木の葉や木の実等採取し図工作品に仕上げてきました。種から大事に育てたアサガオは間引きをし、間引きした苗は保育園児さんにお裾分け。夏には花を楽しみ、夏の終わりには種を採取し枯れたつるも保管しておいたとのこと。今回の授業参観では、そのアサガオの枯れたつるを使ってお家の方とクリスマスリースづくりを楽しみました。3年生の国語で「すがたをかえる大豆」（作：国分牧衛）を学びますが、これはまさに「すがたをかえるアサガオ」ですね。SDGsに繋がる素敵な取組でした。

12/2 PTA 教育講演会 岸信子氏「子育てから学んだ処世術」



PTA 研修委員さんの企画・運営により、テレビや映画、絵本等でおなじみの岸信子さんを講師にお迎えし音楽室をメイン会場に4年ぶりに対面での教育講演会を開催しました。7男3女の10人の子どもたちを育てる中で、「子どもと大人の感じ方や考え方は異なり大人が『え〜』と思うことでも、子どもの世界では、意外とそうでないこともある。子どもの話をよく聞くこと。長い目で見ること。学校に足を運び仲良くなること」等を学んだと仰いました。エピソードを織り交ぜながら、満面の笑顔でユーモアたっぷりにお話をされ、予定時間の45分はあっという間に過ぎました。